

町田市立つくし野中学校 広報誌 つくし野中だより	発行 町田市立つくし野中学校 電話 042-795-0323 FAX 042-795-8765	 学校日記はこちらから	第2号 令和8年 4月28日
------------------------------------	--	---	----------------------

○○ 言葉について考える ●○ 校長 河田 真一

つくし野中学校の特色ある取組として、「いじめ0宣言」があります。これは、「大人に言われるから守る」のではなく「自分たちの手で空気を変える」という、つくし中生にとって重要な取組です。自分たちがどんな学校で過ごしたいか。どんな言葉が飛び交う教室にしたいか。それを自分たちが考え、議論し、宣言として形にしています。これは、自分たちのプライド(誇り)をかけた約束ですね。

昨年度のスローガンは「嫌がる言葉にブレーキを、うれしい言葉にアクセルを」でした。今年度はどんなものになるのでしょうか？楽しみにしています。

さて、今日は「言葉」について一緒に考えていきましょう。語源の有力な説として『古今和歌集』の序文にある考え方です。

「やまとうたは、人の心を種として、万(よろづ)の言の葉とぞなれりける」

意味は心の中に「種」があり、そこから茎が伸び、目に見える形となって茂ったのが「言葉の葉である」ということです。みなさんは自分の心にどんな種をまき、どんな言葉の葉を茂らせるのか。ぜひ、自分に問いかけてみてください。

そこで、最近学校生活の中で私が少し気になっていること、そして皆さんに大切にしたいことについて話をします。

一つの例として、皆さんは、友達を呼ぶときにどんな言葉を使っていますか？親しみを込めた「あだ名」は、時として友情を深める素晴らしいものです。しかし、最近、相手が嫌がっているような呼び方、誰かの欠点をからかうような「いじり」や「からかい」を見聞きすることがあります。言っている側は「面白いから」「仲が良いから」と言うかもしれませんが。しかし、笑いが起きているからといって、その場が楽しいとは限りません。本当の「笑い」は、そこにいる全員が明るい気持ちになるものです。

一方で、誰かを下げたり、バカにしたりして生まれる笑いは、それは「笑い」ではなく「嘲笑(あざけり)」です。もし自分が、あるいは自分の大切な家族や仲間が、大勢の前でそんな風に扱われたら、どんな気持ちになるのでしょうか。言葉は、使い方を間違えれば、ナイフよりも鋭く相手の心を切り刻む武器になります。「いじり」を受けた人が、その場で笑って流しているように見えても、家に帰って一人になったとき、その言葉を思い出して深く傷ついているかもしれません。言葉の傷は、目には見えませんが、何年も、時には一生消えないことだってあります。

そこで皆さんに質問です。自分の発した言葉に責任を持っているでしょうか。その言葉を放つ前に、一瞬だけでいいので、「これは相手への敬意(リスペクト)がある言葉か？」と自分に問いかけてみてください。

もし自分の言葉が誰かを傷つけているかも……と心当たりのある人は、今日からその勇気ある一歩を踏み出し、言葉を選び直してください。

この学校を、誰もが「安心して過ごせる場所」にしたいと私は強く願っています。そして、今年の「いじめ0宣言」が、素敵で意味のあるものになることを期待しています。

Tsukushino Junior High School Every Day

■始業式・入学式・新入生歓迎会■

令和8年度のつくし野中学校は満開の桜に囲まれて、新入生248名を迎え、総計759名の生徒、40名を超える教職員スタッフで穏やかにスタートしました。ちなみに生徒数だけで言うと、東京都内公立中学校(約600校)の中で5番目くらい(非公式)に在籍生徒数が多い中学校となり、活気に満ち溢れている毎日です。

4月6日(月)の始業式。朝のクラス発表では新しいクラスに一喜一憂していました。その後新しい学年スタッフ・学級担任が発表されました。今までの別れを惜しむだけでなく、新たな出会いを恐れず、大切にしながら、前を向いて進んでほしいと思います。また、初学活や始業式の様子、入学式準備をしている様子から、進級した上級生の自律した姿をみることができ、「誇れる上級生」となる自覚と決意を感じました。

翌日、4月8日(水)には248名の新入生を迎え、体育館で入学式が行われました。新入生は緊張した面持ちで式に臨んでいました。その凛とした姿から、中学校生活にける意気込みを感じることができました。その後は学級開きや学年レクで仲を深め、14日からは本格的に授業もはじまりました。

始業式



入学式



学級・学年開き



◇◇ 新入生歓迎会 & 部活動仮入部スタート ◇◇

4月10(金)に行われた新入生歓迎会では、部活動紹介などが行われました。入学式では全校生徒があつまることができなかつたため、この新入生歓迎会ではじめて全校生徒が一同に集まることができました。入学式とは違う雰囲気の中、新入生にとっても上級生にとっても有意義な時間となりました。

13日(月)から部活動の仮入部期間が始まりました。TCCが昨年度から始まり、まだまだ発展途上中のため、生徒ならびに保護者の皆様に多少なりとも不安な思いを抱かせてしまったことと思います。申し訳ありません。また、活動に対して受益者負担となるため、金銭的な部分で負担をおかけすることに対してご理解とご協力よろしくお願いいたします。生徒にとって、今までの活動が継続もしくは発展できるようにしていきます。

さて、仮入部期間では、生徒はいろいろな活動に参加しているようです。授業とは違う多くの経験ができるとても貴重な学びの場となっています。1年生も元気な姿で参加しているようで、上級生は先輩になった喜びがでていました。



[保護者の皆様へ]

17日に行われた保護者会に、多くの方にご参加いただきありがとうございました。全体会では学校経営方針や評価評定、生活指導についてなど、様々なことを保護者の皆様にお伝えすることができました。その後の学級会では、年度当初ということもあり、各担任から学級経営についてなどの話があったかと思えます。つくし野中では、保護者の皆様と連携を図りながら、お子様のご成長を一緒に見守っていきたく思います。お力添えをいただくこともあると思いますが、よろしくお願いいたします。また、何かお気づきのことがありましたらお気軽に学校までご連絡を下さい。

5月の主な予定

日	曜	校内行事	備考	給食
1	金		部活動仮入部終	○
7	木	引き渡し訓練	④カット	○
8	金	⑤熱中症予防講習会(1)、一斉委員会 尿検査 1次予備	B 時程、体育祭選手決め	○
9	土	学校公開、部活動一斉保護者会(14:00～)	C 時程	×
11	月	心臓検診	B 時程	○
14	木	午前授業		×
15	金	生徒総会		○
22	金	尿検査二次		○
25	月	全校朝礼		○
27	水	体育祭予行		○
28	木	尿検査二次予備		○
29	金	前日準備		○
30	土	体育祭		×

あいさつ

新年度が始まり約1か月が経過しました。新しいクラスには慣れたでしょうか。新たな環境であいさつはとても大切です。あいさつが人間関係を築くと言っても過言ではありません。

あいさつは「心のキャッチボール」です。先生や友達に「おはよう(ございます)」とあいさつすると、相手からも「おはよう(ございます)」と返ってくると1日がとても爽やかな気持ちで始まります。あいさつはお互いに気持ちよくなる不思議な力を持った言葉です。

あいさつは考えるものではなく習慣です。あいさつはどちらが先にあいさつすると必ずしも決まりがある訳ではありません。あいさつはお互いの存在を認め合うものです。あいさつはどちらからではなく、相手の存在に気付いた方から挨拶をします。あいさつしても返ってこないが無視されたと悲しい気持ちになります。そういった意味でもあいさつは「心のキャッチボール」なのです。

ある日の朝、昨日の仕事が終わらずに出勤すると、朝練の部活に参加しているサッカー一部の生徒から、いつもの大きな声であいさつしてくれました。そのあいさつのおかげで朝からがんばろうという勇気をもらうことができました。

先生方は他の学校を出張や部活関係で訪れることがあります。あいさつの多い学校はとても活気があり、明るい印象を受けます。友達や先生だけでなく、来校した方々にも大きな声であいさつし、お互い安心できる学校を作りましょう。

2・3年生は“江戸しぐさ”を覚えていますか？

昨年度の第2号で校長先生から紹介がありました。たとえば、「傘かしげ」というしぐさです。雨の日、狭い道で人とすれ違う時、お互いの傘がぶつからないように、少しかしげを傾げる。ほんの少しの動作です。これだけで相手は「あっ、気づかってくれたんだな」と感じ、気持ちよすれ違うことができます。ということでした。

あいさつとほんの少しの心使い、皆さんで素晴らしい学校を作りましょう。(副校長 残間 喜満)